

# CHALLENGE21



DISABLE  
SUPPORT  
ASSOCIATION  
OF JAPAN

第8号

定価 200円

チャレンジ21 / 2000年1月31日発行 / 第1巻第8号(通巻8号) / 発行: 特定非営利活動法人 全国障害者福祉援護協会

## 全国障害者福祉援護協会

- 21世紀に向けての高齢化社会を考える -



パネラー(左から山本和儀氏、和氣一栄氏、池田真理子氏、高田武子氏、永田理事長)

# 21世紀に向けての高齢化社会を考える 岡山市でパネルディスカッションを開催!!

「ノーマライゼーションのパネルディスカッション」が11月27日午後2時より岡山市国際交流センターで開催されました。主催は特定非営利活動法人・全国障害者福祉援護協会中国地区本部。後援は岡山県、岡山市、社会福祉協議会、連合岡山、山陽新聞社、山陽放送、テレビせとうち。協力は岡山県身体障害者福祉連合会。

永田近理事長の挨拶に続き、行政、医療、建築、教育と各界で活躍されている4名のパネラーを迎え、「21世紀に向けての高齢化社会を考える」と題して行われたパネルディスカッションは、理事長をコーディネーターに2時間にわたって繰り広げられました。ディスカッションの主な内容は次の通りです。

### 岡山市は21世紀国際福祉都市を目指します。

高田 武子  
(岡山市収入役)



岡山市の高齢者施策は「人間の尊厳」「豊かな長寿社会の創造」を基本理念としており、保険・福

祉・生涯学習などの機能を一体的に提供できる「ふれあいセンター事業」を展開。高齢者介護のサービスを提供する事も実施します。基本理念に加えて「すこやかで安心して暮らすことのできる健康・福祉都市の実現」「住みながら家庭や地域福祉の充実」「社会参加の促進とバリアフリーの街づくり」を展開し、岡山市はこれからのあるべき姿として21世紀国際福祉都市を目指しています。

### 住み良い社会をみんなで 作ることが大事

具体的な施策として、(1)自立の生活をできるだけ援助していく「在宅の生活支援と介護保険の円滑な運営」(2)高齢者が長く健康で生きていくための健康相談・健康づくりといった「予防的保険福祉対策の推進」(3)住民が参加する「市民の自立性の尊重と地

域ケアの体制の構築」(4)高齢者とのふれあいを支援する「世代間の相互の理解と交流」(5)高齢者の経験と能力を社会の中で、もう一度生かす「高齢者が自立し意欲と能力を生かせる社会の形成」(6)高齢者を尊ぶ意識を持つてもらうための「高齢者の尊厳と生活環境の整備」などに今後取り組んでいきます。

けるように、行政と民間が努力していかなければいけないのが高齢化社会でと考えます。

高齢者や障害者にとつて住み良い社会は健常者にとつても住みやすいことと思ひます。高齢者も社会の担い手になるような社会をみんなで作るこゝとが大事だと思ひます。

### 自分のことは自分で考える

池田 真理子

(インテリアコーデイナー  
二級建築士)

建築基準法の中にハートビル法があります。これは高齢者や身体障害者が円滑に利用できる特定建築物の建築促進に関する法律です。平成7年に制定され、公衆トイレに障害者用車イス専用トイレが設置され、公共施設にスロープができ、映画館には障害者用の座席が必要など、これからの公共建築物に義務づけられるようになりました。とても良いことなのだけれども、これにより高齢者や障害者を特別視することになり、新しい差別感が生まれてくるのではないのでしょうか。本場のバリアフリーとは何だろう、と改めて考えたとき、高齢者や障害者にやさしい設備や空間は健常者にもやさしく使えるものなので、はじめから高齢者や障害者を主役に考えた公共施設を造っていくと考へれば、今よりもゆとりのある空間で障害者も健常者も同じ立場で利用できるのではないかと考へます。

これからの高齢化社会に向けて、一人一人が自分の生活や生き方を見つめ、一人一人のかたちに合わせてものを作られるのが本場のバリアフリーではないのでしょうか。行政や人から与えられるものではなく、自分たちのこと自分たちで考へることがこれからの高齢化社会に与えられたテーマだと思ひます。

### 生きることは住(ま)まうこと

この菓が非常に不安定で、人々の心は荒れています。これは住まうことの軽視の現れではないのでしょうか。

今の福祉関連商品のほとんどは住まうことから開発されており、便利さを追求し過ぎています。バリアフリー住宅に象徴される段差のないことは便利ではあるが、かえつて知らず知らずのうちに健康な機能が失われているのではないのでしょうか。便利さがたくさんのもを失つてきています。精神的なものばかりでなく肉体的な機能を失つています。

「人間は人としての尊厳を持つて生きていかなければいけない」こうしたことから住宅を考へると、周りが何もかも与えてあげる便利なことやバリアフリー住宅は必ずしもこれから必要な事ではないと考へます。

「生きることは住まうこと」を真剣に考へ、住まいそのものの毎日の生活を大事にしたいと思ひます。自分の生き様は一人一人が責任もつていかなければならない。自覚することから始まります。

### 「売れるサービス」

和氣 一栄

(玉野看護福祉総合専門学校  
介護福祉学科長)



山本 和儀

お互いの信頼関係は自分がどうありたいか。自分がどうあれば自分らしくこの世を去れるか。他人に自分の最後を委ねられるのか、身内でなければいけないのか。自分が何をするのか。生きたという証をどう自分で作るのか。親子、夫婦の関係で満足のいく形を作るにはどうしたらよいか、お互い真剣に考へる必要があると思ひます。

### 今の社会は当たり前ではない

山本 和儀

(大東リハビリテーション研究所長  
医療法人若弘会)

ノーマライゼーションとは二言でいえば「当たり前前に生活する、みんなと共生すること」「自己決定ができること」そしてそのことを周りが当たり前前に受け止め支援していくこと。このようにな当たり前の社会をつくっていくことです。ところが今の社会は当たり前ではない。

「子供たちのノーマライゼーションとは何か」学校で隣近所の子供たちと一緒に学ぶこと、またその生活が保障されることなのです。障害児を早い機会に子ども集団や保育所に行けるようにすること。どんな障害があつても専門家だけの課題ではなく地域ぐるみでみんなで係わり、保護者が安心できる体制を作ることが大切です。校内研修会を開き建物を改造することは当たり前前のことであり、給食をひとり

で食べられない子どもには教師自ら配慮できること。養護学校でできることが普通学校でできて当たり前前なことなのです。

共に生きること、共に学ぶこと、お互い影響しあつていきます。そしてお互いやさしくなります。行政だけではなく市民自ら大切に思うような地域を作るのが大事です。

### 自分のことを受け止める感性が必要

高齢者の地域リハビリは家にこもらず外に出ることからはじまり、その人らしい生き方が保証されます。

地域リハビリはあらゆる人たちが理解し、自分のこととして受け止める感性が必要です。リハビリを続けていくと、身体機能はさほど変わつていないけれども心は元に戻つていきます。心が元気な頃のように戻つてくるとやさしくなる。自分しか見つめることができなかつたのが、周りに助けられることにより周りに気を配るようになる。心に余裕が出てくる。このことが大事なのです。その人らしく生きることと認め合い、支え合い、自分のこととして受け止める感性がリハビリテーションなのです。



盲人ゴルフ  
ジョイント企画

# 第5回 ノーマライゼーション チャリティゴルフ大会開催

12月6日 磯子カントリークラブ

12月6日(月)横浜市磯子カントリークラブで、視覚障害者を交えた総勢174名の参加者によるチャリティゴルフ大会が開催されました。当協会が主催する過去4回はすべて健常者だけの参加によるゴルフ大会でしたが、今回のように視覚障害者が参加したのは今回が初めてのこと。また神奈川県内においても初めての大会となりました。



視覚障害者の部 優勝者 黒羽根 唯年さん(中央)、パートナーの米子夫人(右)



1番ホールティーグラウンド

「ブラインドゴルフ」と呼ばれている視覚障害者のゴルフは弱視の人だけでなく全盲の人まで全国で1300人いるといわれています。ルールや道具は健常者と同じですが、唯一違うのはバンカー内でクラブを砂につけてもペナルティにならないという点だけです。そしてスタンスやボールの行方、距離などをアドバイスするサポート役の「パートナー」がブレイヤー一人

人について全ホールを一緒に回ります。視覚障害者を受け入れてくれるゴルフ場や練習場が全体に少ない中、今回行われた大会は神奈川県内では初めてのこの視覚障害者と健常者が対等に競技者として力を競いあうことは、当協会のテーマである「ノーマライゼーションの理念」に沿った大変意義深いスポーツイベントであったと思います。

当協会では今後恒例の大会として実施していきたいと考えております。

この大会を開催するにあたり、神奈川県横浜市(財)日本盲導犬協会ほか10団体の後援、神奈川県視覚障害ゴルフフェアズ協会、神奈川県ブラインドゴルフパートナー会の協力。50団体近い協賛をして会場を提供していただきました磯子カントリークラブなど多くの方々からのご支援をいただきました。誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



パートナーが方向や距離をアドバイス

今回参加された視覚障害者のお一人から感想文を頂きましたのでここに紹介いたします。

## 「チャリティゴルフ大会に参加して」

(案野市) 高橋 隆一



10番スタート。私のドキドキのティショットは「ナイスショット」の声に乗って、手応え十分にフェアウェイ右方向へ飛んでいくたようだ。「池の右手前です。悪くないで

すよ」とキャディさんの言葉にひとまず「ホッ」とする。続いて同じ組の晴眼者の林さん、石島さんが次々にナイスショット。(これはついていくのは大変だ)スターティングホール特有の緊張感と共に、ちよびり不安の交わった第1打となつてしまいました。

12月6日横浜市磯子CCは真冬にもかかわらず、半袖でブレイできるほど暖かかった。視覚障害者の一人として参加した私を待っていたのは大勢のボランティアの方々の温かい拍手と声援だった。晴眼者の中に一人交ざってブレイすることなど滅多にな

い私にとって、何よりも励ましとなりました。10年前交通事故で視力を失った私は、もう二度とゴルフはできない、と絶望的な全盲の日々を送っていました。そして事故から3年目の冬に待望の角膜移植を受けることができて、左目だけですが0.02の視力を取り戻せたのでした。視界はたった10mにも満たない世界ですが、へ間から光のこのときの感激は今でも忘れることができません。名も知らぬ、今はこの世の人ではない方の角膜を頂いて、自分は今こうして光を取り戻すことができたのだから、私の残りの人生は「授かったもの」と、受け止めその人の分と併せて二人分を頑張

って生きていこう。そして「全てに感謝」「生きているのではなく、生かされているんだ」という気持ちで大切に、何らかのかたちで私なりの社会への恩返しができたらいいなと考えています。

そんな事があつて2年ほど前新聞でブラインドゴルフの存在を知り、「視覚障害者でもゴルフがやれるのだ」と勇気づけられ、「もう一も」もなく神奈川県視覚障害ゴルフフェアズ協会に入会しました。

2000年には61歳になる私ですが、今年では12回程程度の練習と平成11年には年間18回のラウンドをこなしました。そして昨年からは冬場のトレーニングをかねてブラインドスキーを始めました。

今回の大会で視覚障害者の部で3位に入賞した私は、同伴ブレイヤーの石島氏と林氏から祝福を受けました。思いもかけぬ事で大いに感激しました。お二人には心から御礼申し上げます。

障害者は心ある人々の善意の支えなくしては日常の生活が成り立たない、ということを全く否定するものではありませんが、それが障害者自身の甘えや、我が儘にながってしまうのは絶対いけないと思います。ブラインドゴルフはパートナーと称するボランティアの方の力を借りつつも、障害者自身が己の体を使い健常者と全く同じルールで同じフィールドで競い合う唯一のスポーツです。

この事には実は一番大きな意義があるのだと思います。今回の大会をきっかけに視覚障害者の対する理解と関心がもつとと深まり、私たちを受け入れてくれるゴルフ場が増えてくれればと願っています。そしてこの大会が恒常的に開催され発展していくことで、障害者の自立や社会復帰へのエネルギー源の一助になればと思います。

最後にこの大会に携わった全てのスタッフの方々とボランティアの皆様、そして参加された全ての選手の皆様に心から感謝申し上げます。本当に楽しく素晴らしい体験をさせていただきました。ありがとうございました。

3団体に80万円のチャリティを  
することができました



今回のチャリティゴルフ大会にて(財)日本盲導犬協会へ三〇万円、横浜市視覚障害者福祉協会へ一〇万円、神奈川県視覚障害者ゴルフアズ協会へ四〇万円(うち三〇万円は視覚障害者のプレイ費に充当)寄付いたしました。参加された皆様そして協賛していただきました皆様により今回このように三団体へ寄付することができました。誠にありがとうございました。

賞品をご協賛して頂いた皆様です

- ・磯子カンツリークラブ
- ・朝日生命保険相互会社
- ・伊藤ビル
- ・伊鈴電設(株)
- ・(有)ウエノクリーニング
- ・(株)エイセキ
- ・(株)エコシステム横浜
- ・NKK
- ・NKK京浜労組
- ・NKK労働組合連合会
- ・(有)エムティービー
- ・小野歯科医院
- ・(株)金井観光
- ・神奈川県労働金庫
- ・菊地設備工業(株)
- ・キムラ商事
- ・キリンビール労働組合
- ・倉田ひとし事務所
- ・(株)健康産業
- ・(有)建晃
- ・鋼管鋳業(株)
- ・東京コカ・コーラ
- ・日本コカ・コーラ(株)
- ・三國コカ・コーラボトリング(株)
- ・コマツユニオン
- ・相模原南病院
- ・サッポロビール飲料(株)
- ・(株)サンエープロセス
- ・シティアクセス(株)
- ・渋谷文久事務所
- ・(株)しょういん横浜
- ・全労済神奈川県本部
- ・(株)つのだガーデンセンター
- ・東京国際通信(株)
- ・東芝機器(株)
- ・西川ともお後援会
- ・日産労連
- ・日青鋼業(株)
- ・日本鋼管工事(株)
- ・はまかせ新聞社
- ・法輪葬祭(株)
- ・(株)豊和トラベルサービス
- ・牧島功事務所
- ・間野和彦
- ・三井建設(株)
- ・(有)未来環境サービス
- ・(株)村上義一商店
- ・森としあき後援会
- ・UCC
- ・ゆかり共済
- ・(株)ユニマットコーポレーション
- ・(株)横山電気
- ・(株)横浜エージェンシー
- ・横浜みなと洋光台ライオンズクラブ
- ・(株)リミューズ
- ・連合神奈川
- ・ワークス横浜(株)
- ・渡辺和男

講演会  
パネルディスカッション

「障害者と健常者との  
共生を考える」

昨年6月19日横浜ラポールで行われました「講演会とパネルディスカッション」の内容は一部前号に掲載しましたが、今回は前号に掲載されなかった講演会とディスカッションの内容を掲載させていただきます。

講演  
社会参加と  
ノーマライゼーション

講師 坂上護二  
(神奈川県聴覚障害者協会理事長)

真のノーマライゼーションとは障害者が健常者の社会の中で生活することができる条件です。この条件を整備しなければ障害者の完全な社会参加はできない。

「ノーマライゼーション」の講演とパネルディスカッション  
—障害者と健常者との共生を考える



障害者基本法には政策を策定する場合、当事者を選択しなければならぬことになっています。この場合、聴覚障害、視覚障害、肢体不自由など障害別に各代表者が参加する必要があると思いますが、現実にはそうではなく各障害をひとくくりにして代表者が参加している。これでは肢体不自由の人は聴覚障害のことはわからない。また視覚障害者は聴覚障害のことはわからない、といったことで障害者が

参加できる理想的な福祉の街づくりは難しいものになってしまうのではないのでしょうか。

聴覚障害者が社会参加する機会が近年増えてきました。言い換えれば社会の理解が進んできたといえます。これに伴い社会参加できる条件をより具体的に整備する必要があります。NHKでは2007年にはテレビの字幕スパーを70〜80%増やす予定だそうです。

また一方で聞こえないという理由だけで差別制限している法律がたくさんあります。医師法、歯科医師法、薬剤士法などがそうです。欧米に比べ大変遅れています。

障害者が社会に参加できるようにするためにはさまざまなインフラが必要となります。バス内の「行き先表示電光掲示板」「車イス用スロープ」「エレベーター」など障害者のためのインフラは健常者にもやさしいのです。

街づくりは企画の段階から多くの障害者の参加が必要なのは、現実には非常に少ない。これは大

きな問題です。ここから解決していかなければ障害者の完全な社会参加は難しいのかもしれない。

パネルディスカッション

バリアフリー先進国とは

森山 志郎  
(片マヒ自立研究所 主宰)

「片マヒ自立研究会」では脳卒中の後遺症を持った人々の中で、障害を克服して積極的に生きていくと、さまざまな試みを行っています。

半身マヒの症状が現れ、最近では老人だけではなく若い人も増えてきている脳卒中は新しい障害のため、新しいリハビリの技術は確立していません。障害があり何かと不便ではあるけれども、二つの人格として社会の中に自分の役割を見つけ、明日の希望を見つけたらと自主的に活動しています。

障害者になって街に出たとき、周囲から好奇心の目にさらされます。人の目を気にする気持ちが働きます。そこに「心のバリア」が生まれお互いの連帯が失われてしまいます。

また段差などのさまざまな「物理的バリア」があります。私たちが訴えていかなければ社会は認めてくれません。少子高齢化の進む21世紀の共生社会の中で、ノーマライゼーション社会の実現を考えたとき、二つのバリアをいろいろな所



「電機神奈川 福祉センター」は電機産業で働く労働組合の全国組織（電機連合）が運営している施設です。施設内には●障害者を受け入れる職場の方々の研修を行う研修センター。●在宅高齢者のレクリエーションや入浴、食事のサービスを行う地域ケアプラザ。●知的障害者を対象にした授産施設「ぽこあぽこ」●障害者雇用を支援する就労援助センターがあります。

障害者雇用を考えたとき、企業は障害者で働ける可能性のある人はもつと働ける場を提供するべきである。これには障害者雇用を理

## ハネルディスカッション

### 障害者雇用のさらなる理解を

（社）電機神奈川福祉センター長  
土師 修司

で無くしていかなければ、先進諸国の社会水準には及ばないと思います。

このような経過の中、阪神淡路大震災をきっかけに市民ボランティア局を連合の中に設置し、さまざまな活動を行っています。

連合の活動の中にNPOがあります。地域の市民団体は任意団体であり、名義上個人であるため、信頼性は薄く不都合が生じていました。これを解決するためにNPO法（特定非営利活動促進法）があります。

子どもが適齢期になると入学通知書が来ますが、障害児は地域の学校にはいることができない。子どもは障害があろうがなかろうが区別せず接し遊ぶ権利があります。お互いに助け合うことが大事であります。大人社会が区別をし、健全者が壁を造っているのではないのでしょうか。

連合は労働組合運動の一環として地域社会の中に入り、障害者が住める街づくりをし、そして地域の人たちと一緒に普通小学校の中に障害児学級をつくる運動をしています。

## ハネルディスカッション

### 地域の市民活動が大切

日本福祉推進員ボランティア局長  
川嶋 昭宣

解する人材が企業に必要であり、障害者雇用促進法を推進している行政の協力が必要です。現実を考えたノーモラライゼーションをもう一度見直す必要があると思います。

命と健康を守る医療施設はこれから最優先に考えるべきだと思います。これからの少子高齢化社会の医療制度を考えたとき、地に着いた長期的ビジョンに立つて財源の確保を考えておかなければなりません。そうした他の施策の一つとして消費税を財源にすることも必要であると思います。

来年度から施行される介護保健法は今、さまざまな問題が討議されています。例えば地域によって各自自治体の負担に差が生じ、地域によっては介護者の確保数やケアマネージャーが規定の役割を果たしてくるかなどのサービスの地域格差の問題など、現在のところ整理はされていません。

介護保健法は施行前、大きな問題をたくさん残しながらのスタートとなります。民意が反映されるよう実施にあたっては慎重に問題点の整理をする必要があると思います。

## ハネルディスカッション

### 民意に反した医療保険制度を

石川 直源  
（医療法人直源会・相模原南病院代表）

税制措置の見直しなどの課題は残されていますが、連合ではNPO事業サポートセンターを開設し、市民活動を広く展開するためにNPO法人化の相談窓口を設けています。

# 「第7回手話教室～中級コース」受講生募集中!!

## 第7回 手話教室(初級コース) 募集要項

日 時	平成12年4月17日～平成12年10月30日 毎週月曜日(全20回) 午後7時～9時
会 場	かながわ県民センター(横浜駅西口徒歩5分)
後 援	横浜市
協 力	(社)横浜市聴覚障害者協会
募集人数	30名(初めての方対象)
受講料	20,000円(1,000円×20回) 1,000円(資料代)
申込方法	住所、氏名、年齢、性別、電話番号、手話経験歴をご記入の上、往復ハガキにて当事務局までお申し込みください
申込締切	3月31日まで

手話教室をはじめから早7回目を迎えようとしています。今回募集する初級コースは初めての方を対象とします。ただいま受講生を募集しておりますので、ご希望の方は当事務局へお申し込みください。



お申込・お問合せ先  
特定非営利活動法人  
全国障害者福祉援護協会 事務局  
(〒221-0835)  
横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3伊藤ビル4階  
TEL:045-411-0294 FAX:045-411-0295

# ボランテティア活動報告

## 市長杯ボウリング大会

(7月4日)

視覚障害者による恒例の横浜市長杯ボウリング大会がハイランドレーンで行われました。視覚障害者40名、ボランテティア10名。ボランテティアの大半が過去この大会にお手伝いに来た人たちなので、介助も慣れたもの。お互い和気あいあい息がぴったりでした。



## ボランテティア入門講座

(7/10)

当協会では車イス介助法、視覚障害者誘導法を一般の方に習得して頂こうと「ボランテティア入門講座」を開催しました。応募者の中から40名に参加していただき、車イスの正しい押し方、段差での扱い方など、また屋外では実際に



アイマスクをしての体験

車椅子に乗ってみる体験をし、視覚障害者の誘導法では狭い道や足場の悪い所をどのように誘導したらよいかなどを3時間にわたって行いました。

障害者と街で出会ったとき、何をしたらよいかわからない。今回の講座を通して体験してみないとわからないことばかりです。当協会ではこの講座を今年も開催したいと考えております。



路上での車イス体験

## 身体障害者運動会

(10月3日)



身体障害者500名が参加する第16回横浜身体障害者運動会が薄曇りの10月3日横浜ラポールグラウンドで行われました。集まったボランテティアは大会運営のスタッフとして、障害者の介助役として時には競技者として参加。それぞれの役割を無事果たし、盛大な運動会となりました。

## 城ヶ島ハイキング

(10月24日)

視覚障害者との城ヶ島ハイキング。北原白秋記念館をスタートに三浦半島を散策。マグロ料理を味わい、帰りの生鮮食品センターではおみやげを買い、秋の行楽にはもってこいの一日でした。

## ワイルドブルーヨコハマ招待

(11月21日)

横浜市鶴見区にある屋内ウォータープーク「ワイルドブルーヨコハマ」のご協力を得て、横浜市ろうあ学校の生徒とその家族40名をご招待。屋外の寒さと打って変わり室温32度。波あり、流れるプールあり、ジャンボ滑り台とまさに常夏のテーマパーク。大人も子どもも一緒に二日を満喫したようです。



今回の招待企画にワイルドブルーヨコハマのご協力を頂きましたこと、感謝申し上げます。

明るい未来のために「ロッキー号」を走らせよう!



### ふれ愛サポート 定期預金

# ロッキー

ふれ愛サポート定期預金《ロッキー》は、県内の福祉団体等に

福祉車両「ロッキー号」を寄贈するための資金源として活用する定期預金です。

お問い合わせは  
神奈川県労働金庫

フリーダイヤル  
0120-48-2828

《ロッキー》は  
こんな定期預金です。

- お預入れ期間 / 1年
- 金額 / 50,000円以上
- 定期預金の種類 / スーパー定期(300)、大口定期
- 金利 / 店頭表示金利でお預かりします。



### 特定非営利活動法人 を取得

去る9月16日、経済企画庁より特定非営利活動法人として認証を受け、10月には法務局への法人登記を済ませました。

主たる事務所として現在の神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町。従たる事務所として中国地区本部のある岡山県岡山市に登記しました。特定非営利活動法人は公益事業の他に収益事業も認められています。皆様のご協力、ご支援を賜りながら社会福祉の向上に努力して参ります。

### 神奈川県労働金庫様より 寄付をいただきました

法人会員である神奈川県労働金庫星川支店15周年記念の一環として行われたチャリティゴルフ大会で集まりましたチャリティ金を去る8月、当協会へ寄付されました。ありがとうございます。

### 日本公企様より寄付を いただきました

日頃ご協力を頂いております日本公企(有)様より、寄付金をいただきました。ありがとうございます。

### 岡山市長と対談

昨年、中国地区本部長の妹尾基司氏が萩原誠司岡山市長と環境問題について対談しました。

この中で中国地区本部の収益事業として取り扱っている、環境にやさしい「ハイテクたわし」を岡山市で推奨してもらおうよう働きかけ、前向きに検討して頂くことに話が進みました。



妹尾 基司中国地区本部長 萩原 誠司岡山市長

### 第1回通常総会開催

特定非営利活動法人として第1回通常総会を11月25日、神奈川県社会福祉会館会議室で開催しました。

#### 【報告事項】

- 1.平成11年度活動経過の報告
- 2.特定非営利活動法人、申請・認証までの経過

#### 【審議事項】

- 1.定款の確認について
- 2.組織機構の確認について
- 3.理事、監事(役員構成)の選出について
- 4.評議員の選出について
- 5.設立当初の財産目録の確認について
- 6.平成11年度の事業計画について
- 7.平成11年度の予算について

#### 【要請事項】

- 1.パナレディスカッションの開催について
- 2.11月27日/岡山市
- 3.第5回チャリティゴルフの開催について
- 4.12月6日/磯子カントリークラブ

### 神奈川県聴覚障害者連盟より 感謝状を授与

「聴覚障害者を差別する法律改正」の100万人署名運動に、当協会では皆様のご協力のもと45,000人の署名を集めました。横浜市聴覚障害者協会に引き続き神奈川県聴覚障害者連盟からも感謝状を頂きました。



### JK協会の活動にご支援を!!

JK協会(会長・永田近)は飲料メーカー、設置提供者(商店、会社、労働組合など)の協力を得ながら、社会貢献型の飲料缶自動販売機を通じて売上の一部を「みどりの地球防衛基金」「産経新聞福祉の船」「日本自閉症協会埼玉支部」「群馬県母子寡婦福祉協議会」そして「全国障害者福祉援護協会」などに寄付をしています。

一九九九年度の寄付総額は二〇〇万円を超えており、飲料缶一本につき2円(メーカー、設置提供者がそれぞれ1円)を寄付した結果こんなに大きな金額になることは本当に驚きであると同時に、参加されている飲料メーカー、設置提供者のご理解に感謝しなければなりません。

寄付先団体からは飲料メーカー、設置提供者の協力に対して感謝のご挨拶に併せて寄付金の有効活用についてご報告を頂いております。JK協会はこうした実績に大いに励まされ、今後も自動販売機を媒体にした社会貢献に邁進するとともに多くの方々のご協力を願っております。

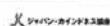


ジャパン・カインドネス協会

## 社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください

この潤いが  
小さな社会貢献へ

この自動販売機は、利益の一部が下記団体へ寄付されます。



全国障害者福祉援護協会

理事長 永田 近 045-411-0294(代)

このステッカーを貼った自動販売機を設置します。



ジャパン・カインドネス協会

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がジャパン・カインドネス協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。

是非この機会にJK協会指定の自動販売機の設置に、ご協力お願い申し上げます。



特定非営利活動法人

全国障害者福祉援護協会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル  
TEL:045-411-0294(代) FAX:045-411-0295

ご協力ありがとうございます。  
今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を  
順次で紹介いたします。

- (有)アールアンドエー
- (株)愛木工業
- 旭硝子労働組合
- (有)アベニューホーム
- 石川島播磨重工労働組合
- (株)伊藤ビル
- (株)エイセキ
- NKK
- エヌケーケー物流(株)
- エヌケーケープラント建設(株)
- NTT労組神奈川支部
- (有)エヌティープランニング
- (株)大熊整美堂
- (株)オリーブ
- 神奈川県労働金庫
- 川崎製鉄健康保険組合
- 川崎製鉄労働組合連合会
- 関東オートグラス(株)
- キリンビール労働組合
- (有)クオーク
- (株)クラスター
- クリーン・ワールド(株)
- 鋼管ドラム(株)
- 交通労連関東地方総支部
- 興南設計(株)
- 小松製作所労働組合
- (株)サーヴ
- 医療法人直源会 相模原南病院
- (株)サンエープロセス
- (株)三巧
- (株)三和電業社
- (株)ジェイ・エスエス
- (株)シガドライセンター
- (株)しょういん
- (株)しょういん横浜
- 湘南交通(株)
- (有)湘南百貨店三島店
- 新日本製鐵労働組合連合会
- (株)シンプル
- 鈴江コーポレーション(株)
- 住友重機械労働組合連合会
- 全国グリーン共済会
- 全国造船重機労働組合連合会神奈川地協
- 全日産・一般業種労働組合連合会
- 全民懇ボランティア基金
- 全労済神奈川本部
- (株)創土社
- (有)田辺葬祭
- 多摩川ハイヤー(株)
- (有)ディーキャット
- (有)デュオ
- 東京電力労働組合神奈川総支部
- 東芝労働組合
- 東邦薬品(株)
- (株)富世
- トヨタ自動車労働組合
- (株)長野リサイクル
- 日青鋼業(株)
- 日本携帯電話サービス(株)
- 日本健康ファミリー共済
- 日本コカ・コーラ(株)
- 日本鋼管京浜製鉄所労働組合
- 日本鋼管工事(株)
- 日本鋼管鶴見労働組合
- 日本鋼管津労働組合
- 日本鋼管福山製鉄所労働組合
- 日本鋼管本社労働組合
- 日本鋼管労働組合連合会
- 日本鉄鋼産業労働組合連合会
- 浜本建設工業
- 日立製作所労働組合
- 日の丸交通(株)
- (有)平木商事
- (株)フォーバル総合研究所
- 不二交通(株)
- 富士交通(有)
- (有)藤間企画
- プリヂストン労働組合
- 平和交通(株)
- ベターライフテレビ(株)
- (株)ベルホール
- 法輪葬祭(株)
- (株)マーク・テック
- 松岡興産(株)
- (株)マネジメントサービス
- 丸全昭和運輸労働組合協議会
- 総合商社マルチュウ(有)
- 三井造船労働組合連合会
- 連合・造船重機労連・三菱重工労働組合
- (株)村上義一商店
- (株)メイク スライブ
- (株)メイショー
- (有)山岡葬祭
- (株)有徳社
- (株)ユニオン
- 横浜環境保全(株)
- (株)リアルエステート・エイジェンシー
- 児童建設(株)
- ワークス横浜(株)
- (有)ワールド・ネット・システム
- (株)ワイエムツインターナショナル

活動経過報告 (平成11年度、活動経過の項目のみ記載)

期日	活動内容	場所	期日	活動内容	場所
2/7	横浜市身体障害者囲碁・将棋大会へのボランティア派遣	神奈川福祉センター	7/18	横浜身体障害者連合会大会への参加	横浜ラポール
3/27	視覚障害者誘導の講演と実技へのボランティア派遣	神奈川福祉センター	9/16	特定非営利活動法人の認証	経済企画庁
4/25	横浜視覚障害者協会総会への参加	神奈川福祉センター	10/3	横浜身体障害者連合会運動会へのボランティア派遣	横浜ラポール
5/15	チャリティボウリング大会の開催、参加者112名 (視覚障害者28名、明眼者84名、特別ゲスト中山律子プロ)	横浜プリンスボウリング場	10/10	JR旅のプレゼントへの参加	JR東日本
5/30	視覚障害者のハイキングへのボランティア派遣	伊勢原大山	10/24	視覚障害者ハイキングへのボランティア派遣	城ヶ島
6/19	講演会、パネル・ディスカッション開催、参加者160名 (障害者45名、健常者115名、来賓・室谷千英神奈川県副知事)	横浜ラポール	11/7	神奈川県視覚障害者連盟への参加、当協会に感謝状授与とされる	川崎市・エポックなかはら
6/27	横浜視覚障害者協会総会への参加、当協会に感謝状授与とされる	港北公会堂	11/21	聾学校の生徒(聴覚障害児)をワイルドブルー・ヨコハマへ招待	ワイルドブルー・ヨコハマ
6/27	盲人卓球大会へのボランティア派遣	二俣川ライトセンター	11/25	第1回総会の開催	神奈川県社会福祉会館
7/4	視覚障害者ボウリング大会へのボランティア派遣	ハイランドレーン	11/27	岡山市パネルディスカッション	岡山国際交流センター
7/10	ボランティア養成講座開催、参加者40名	神奈川福祉センター	12/6	第5回チャリティゴルフ大会	磯子カントリークラブ
			通年開催	手話教室毎週月曜日、参加者30~40名	神奈川県民センター

特定非営利活動法人  
全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

CHALLENGE21 第8号

特定非営利活動法人  
発行者: 全国障害者福祉援護協会  
編集人: 永田 近  
発行日: 2000年1月31日 第8号  
所在地: 〒221-0835  
横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル  
TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295  
定 価: 200円

法人会員 1口  
5,000円/月  
個人会員 1口  
1,200円/月



指定の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。  
お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局

TEL:045-411-0294  
ヨイヒトワフクシ

編集後記

とうとう2000年がやってきた。昨年はいベンジ・ミレニウム・リストラ・スキームなどカタカナ語が多量に氾濫した年でもあった。中には誤った解釈をして使われることがしばしば。ノーマライゼーション・バリアフリー・ボランティア正しく理解できる年になって欲しい。

T.S.